

令和8年
2026年

6月1日
月曜日

第11960号

食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日
第三種郵便物認可

購読料 (前納)
年間 82,080円
(税込み)
6か月 42,120円
(税込み)

本紙は関連企業・団体との
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社
https://www.shokuniku.co.jp/

東京支社
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



伊藤ハム米久HDは、西宮工場で2026年夏ギフト発表会を開催した……P3

- ▶ 主要3カテゴリーが減少—4月分の加工品生産量 …… P2
- ▶ 伊藤ハム米久HDが夏ギフト発表会を開催① …… P3
- ▶ プリマハム中元ギフト②、今夏も「ありがとうを、贈ります。」テーマに …… P4
- ▶ 「食肉流通統計・4月」と畜頭数は豚0・6%減、成牛は2・0%減 …… P5
- ▶ 「鶏肉輸入通関4月」計5万1934 tで8・8%増 …… P5
- ▶ 京都食肉2団体が、8年度通常総会を開催 P6
- ▶ 滋賀食肉事業組合・生衛組合が8年度通常総会 …… P6
- ▶ 「都内輸入食肉在庫・4月」牛肉在庫量は前年同月比7・1%増 …… P7
- ▶ 日本食品機械工業会が総会を開催、役員改選では大川原会長が留任 …… P7
- ▶ 「東京食肉卸売市場」牛は高値疲れ、豚は強含みか …… P8
- ▶ 「大阪市食肉卸売市場」牛は高値もちあい、豚は6月も高値基調続く …… P8
- ▶ プリマハム、ハム・ソーセージおよび加工食品約250品目を値上げ …… P8
- ▶ 「資料」食肉加工品生産数量調査報告書 (2026年4月分) …… P9
- ▶ 「東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数」29日 …… P10
- ▶ 「各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場」29日 …… P11

注目のヘッドライン

主要3カテゴリーが減少—4月分の加工品生産量

日本ハム・ソーセージ工業協同組合はこのほど、2026年4月分の食肉加工品生産量を発表した。

…詳細はP2

伊藤ハム米久HDが夏ギフト発表会を開催①

…詳細はP3



改訂新版 牛枝肉・部分肉の分割と商品化

職人の技 カラー写真 丁寧な解説

B5判/216頁

定価 5,500円 (税込) (送料別)

食肉通信社

主要3カテゴリーが減少—4月分の加工品生産量

日本ハム・ソーセージ工業協同組合はこのほど、2026年4月分の食肉加工品生産量を発表した。それによると、全体の生産量は4万2912t(前年同期比1・2%減)で前月に続き減少した。このうちハム類は7377t(1・8%減)、ベーコン類は7074t(5・2%減)、ソーセージ類は2万6558t(0・2%減)となり、主要3品はいずれも減少した。プレス類は1903t(2・8%増)だった。

4月のハム類はメインのロースハムが5187t(2・9%減)、その他ハムが815t(4・4%減)で、構成比の高い品目で減少。ラックスハムが786t(4・9%増)、ボンレスハムは488t(4・5%増)と増加したが、トータルでは減少した。

ベーコン類は大きな割合を占めるバラベーコンが

6412t(6・2%減)と大きく減少。それ以外ではショルダーベーコンが459t(9・9%増)と大きく増加、その他ベーコンは201t(3・4%減)と減少し、全体では減少となった。

ソーセージ類は中心となるウインナーソーセージが2万439t(2・4%増)と伸長。フランクフルトソーセージが2800t(12・9%減)と大きく減少し、ポロニアソーセージは1224t(6・7%増)と増加。全体ではわずかながら減少した。オールポークソーセージは1万6071t(2・8%増)と増加した。

プレス類ではプレスハムが320t(2・1%増)、チョップドハムは1583t(2・9%増)でいずれも増加した。

[2026年4月の加工品生産量]

(単位:t,%)

銘柄	生産数量	前年同月比	2026年累計	前年同期比
ロースハム	5,186.8	97.1	18,220.4	98.2
ボンレスハム	488.1	104.5	1,758.0	104.9
ラックスハム	786.0	104.9	2,837.9	105.4
その他ハム	814.7	95.6	2,845.0	96.6
ハム類計	7,376.6	98.2	26,057.5	99.1
チョップドハム	1,582.7	102.9	5,422.7	104.9
プレス類計	1,902.9	102.8	6,522.4	104.5
ベーコン	6,411.9	93.8	23,780.5	95.7
ショルダーベーコン	459.1	109.9	1,835.7	125.2
ベーコン類計	7,073.9	94.8	26,368.7	97.5
ウインナーソーセージ	20,439.0	102.4	73,953.4	101.2
フランクフルトソーセージ	2,800.0	87.1	8,902.8	89.0
リオナソーセージ	428.5	99.5	1,583.7	108.6
ポロニアソーセージ	1,223.5	106.7	4,576.2	107.3
無塩漬ソーセージ	757.5	90.2	2,963.1	95.8
その他ソーセージ	274.6	73.8	1,081.8	75.8
ソーセージ類計	26,558.2	99.8	95,277.9	99.9
ポークソーセージ	16,071.1	102.8	57,848.3	102.4
総合計	42,911.6	98.8	154,226.5	99.5
ハンバーグ類	1,895.7	100.9	6,839.2	98.4
やき豚	1,658.6	90.7	6,212.8	99.6
その他	3,919.1	96.7	14,316.9	99.5

伊藤ハム米久HDが夏ギフト発表会を開催①

伊藤ハム米久ホールディングスは5月29日、兵庫県の西宮工場で2026年夏ギフト発表会を開催した。会見には中嶋祐子マーケティング担当兼常務執行役員加工食品事業本部副事業本部長(写真)、青木純一加工食品事業本部事業戦略統括部マーケティング部長、太田健一同マーケティング部家庭用企画室カテゴリーマネジャー、伊藤ハムフードソリューション(株)の篠崎洋介取締役加工食品営業部加工食品販売1部部長らが出席した。

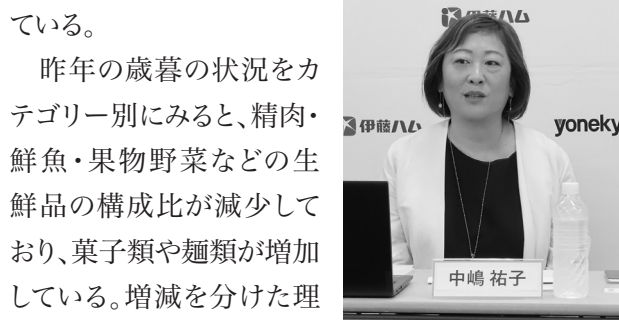
会見冒頭、中嶋常務が次のようにあいさつした。

当社は今年、ホールディングスとして10周年の節目の年。昨年は米久が60周年、伊藤ハムは2028年に100周年を迎える。節目の年に過去を振り返るだけでなく、次の5年、10年、その先を見据えて成長をしていきたいと考えている。また、今秋には三島工場(静岡県)の稼働開始を予定。主力商品の製造を予定しており、製造量の拡大、コスト競争力の向上など、期待の大きなプロジェクトとなっている。本日はギフト商品とその戦略をご紹介します。市場環境は厳しいが、ギフトにしっかりと取り組んでいくというのはわれわれの使命であるとも考えている。また、今回はギフトと合わせて近日市場に展開予定の家庭用商品シリーズについても発表する。

続いて、青木部長が市場環境の概況について次のように説明した。

中元・歳暮市場の縮小傾向が継続している一方で、ギフト市場全体は拡大している。贈答シーンが多岐にわたり、LINEギフトやEC販売などが伸びている一方で従来のような時期・季節で贈り物をするという行為は減っているようだ。ただ、中元・歳暮が軽んじられているかというそうではなく、引き続き重要なマーケットとなる。また贈り物文化全体で考えれば、カジュアルギフトもより重要な市場となってくる。

そうしたギフトの中で、畜肉加工品カテゴリーの状況はというと、中元・歳暮を主な市場としているため、縮小傾向にある。当社のギフトは、これまで市場傾向を上回る実績で推移してきたが、去年は同程度かやや下回る実績となった。感謝の気持ちを伝えるギフトとしては、品格があって支持される一方、カジュアルギフトとしては価格なども含めて敷居が高くなってしまっ



ている。

昨年の歳暮の状況をカテゴリー別にみると、精肉・鮮魚・果物野菜などの生鮮品の構成比が減少しており、菓子類や麺類が増加している。増減を分けた理由の一つに、平均単価があるのではないかと考えられる。生鮮品のギフトは平均価格が5千円、菓子類や麺類は2千円台だ。昨今の経済事情、重たくない感謝の気持ちを伝えるのにマッチしたギフトになっているのではないかと。低価格のみに注力するわけではないが、切り口の一つとして取り組む必要性を感じる。

ギフトに限った話ではないが、経済志向・健康志向・簡便化志向という3大志向は引き続き高い水準で、経済性は特に20代、40代で、簡便化は30代、40代で増加している。ニーズにマッチした品ぞろえを強化する必要があり、これに対応できなければ市場と同様に販売数は縮小していく恐れがある。ギフトは当社を成長させてきた事業でもあり、お客さまに価値あるものを提供し、贈答文化の活性化に寄与していきたい。(連載続く)

プリマハム中元ギフト①、今夏も「ありがとうございます、贈ります。」テーマに

プリマハムでは全国の百貨店や主要量販店、オンラインショップなどにおいて、2026年中元ギフトを発売する。5月29日にはオンライン会見を開催し、寺村博之執行役員マーケティング本部長、岡島周市マーケティング本部商品企画部長、杉山敏章マーケティング本部商品企画部第三課長らが出席した。

今夏も「ありがとうございます、贈ります。」をテーマに、ライフスタイルの変化、環境の変化の中で、健康で豊かな食生活が持続すること、そして、贈られた人が感謝の気持ちを感じてもらえる商品となることを願いラインアップした。アンバサダーには引き続きフリーキャスターの永島優美さんを起用。また、販売促進では、「贈ったあなたに鹿児島県産黒毛和牛が当たる!キャンペーン」を実施する。同社ギフトを購入し、応募した人の中から抽選で合計200人にプレゼントを用意。5千円(税込)以上購入したレシートの貼付またはアップロードで応募可能な「Aコース」は、鹿児島県産黒毛和牛の「ロース焼き肉用400g」と「サーロインステーキ用405g」が、2500円(税込)以上購入したレシートの貼付またはアップロードで応募可能な「Bコース」は、鹿児島県産黒毛和牛の「ロース焼き肉用400g」が、それぞれ100人に当たる。

【ハムギフト】メインブランドの「匠の膳」シリーズ(上写真)は、原料にこだわり自社指定農場で飼育している同社オリジナルブランド豚「鹿児島もち豚」を使用し、豚肉の特長でもある軟らかさと脂のおいしさを生かしたギフトセット。その他、同社オリジナルブランド豚「鹿児島県産恵味の黒豚」シリーズ、ドイツ食肉マイスターの資格を取得した社員が考案した「マイスターバレー」シリーズも用意した。

【加工食品ギフト】新たなギフトとして、新宿区大久保に店舗を構えるスパイスカレーの専門店「SPICY CURRY 魯珈」の齋藤絵里シェフ監修「黒毛和牛リブロースを味わうスパイスカレーセット」(中央写真)、昭和39年創業の老舗うどん店「高円寺さぬきや」監修「肉を楽しむ全粒粉入りうどんセット」(下写真)を発売する。その他、現代的な中国料理の先駆者として世界的に評価される脇屋友詞シェフが監修し、恵味の黒豚の特長である「脂のおいしさ」を生かした「脇屋



シェフ監修恵味の黒豚」、三代目たいめいけん茂出木浩司シェフ監修「オムライスセット」、黒毛和牛を使用した人気のローストビーフと煮込みハンバーグのギフトセットも用意した。

【食肉ギフト】

希少性の高い部位を食べ比べできる焼き肉をはじめ、肉のうまみを味わえる「秋田牛」シリーズ、「高円寺さぬきや」監修「鹿児島もち豚冷しゃぶ&うどんセット」を用意。その他、恵味の黒豚を使用した「ロース生姜焼き用・ロース味噌漬けセット」「ロールステーキ用」「しゃぶしゃぶ用」もラインアップした。

会見で寺村本部長は「今回もアンバサダーには幅広い世代の方から好感を得ている永島優美さんをお迎えし、これまでと同じく“ありがとうございます、贈ります。”をテーマに展開していく。商品では、鹿児島県産もち豚を使用した『匠の膳』シリーズを中心にして、贈る喜び、それから受け取る幸せを広く伝えていく」とあいさつ。さらに岡島部長がギフト市場の概要、杉山課長が中元ギフトのラインアップについて、それぞれ説明した。(連載続く)



[食肉流通統計・4月]と畜頭数は豚0・6%減、成牛は2・0%減

農水省統計部が発表した4月の食肉流通統計によると、全国の豚と畜頭数は2カ月連続で増加していたが、136万8528頭(前年同月比0・6%減)となり減少

に転じた。枝肉生産量は11万30t(0・6%減)となった。豚卸売価格(極上・上規格)は740円(21・9%高)で、東京は771円(28・7%高)、大阪は729円(12・3%高)だった。

一方、成牛と畜頭数は9万3008頭(2・0%減)と減少し、このうち和牛は計4万7671頭(0・7%減)、乳牛は計2万2368頭(7・2%減)、交雑牛は計2万2920頭(1・0%増)となった。成牛の枝肉生産量は4万3637tと前年並み、前月に比べ6・3%増加した。

全国と畜頭数、枝肉生産量

区分		と畜頭数(頭)		枝肉生産量(t)		前年比%	
豚		1,368,528	99.4	110,030	99.4		
成牛計		93,008	98.0	43,637	100.0		
和牛	和牛計	47,671	99.3	23,265	101.3		
	雌	23,154	97.9	10,292	100.5		
	去勢	24,476	100.5	12,958	102.0		
	雄	41	205.0	15	218.6		
乳牛	*乳牛計	22,368	92.8	8,397	95.1		
	雌	13,560	90.8	4,457	92.7		
	去勢	8,794	96.2	3,934	98.1		
	雄	14	53.8	6	73.1		
交雑牛	交雑牛計	22,920	101.0	11,953	101.0		
	雌	10,889	103.7	5,344	103.8		
	去勢	12,026	98.6	6,606	98.8		
	雄	5	250.0	3.2	355.6		
その他の牛計		49	38.6	21	93.3		
その他の牛雌		21	123.5	8	153.8		
その他の牛去勢		21	20.8	10	75.8		
その他の牛雄		7	77.8	3	76.9		
子牛		363	87.5	36	84.7		
馬		930	104.3	387	101.2		

*22年1月分調査より「乳牛」は乳用種の牛、「交雑牛」は乳牛と和牛、乳牛と外国種の交雑種として分離した。

枝肉の卸売価格

区分	東京市場		大阪市場		
	価格	前年同月比	価格	前年同月比	
和牛去勢	A5	2,720	108.4%	2,753	106.1%
	A4	2,539	111.9%	2,525	110.4%
	A3	2,431	113.5%	2,367	117.6%
	A2	2,099	116.3%	-	-
交雑種去勢	B3	1,794	111.3%	1,825	112.4%
	B2	1,714	114.6%	1,749	120.0%
乳牛去勢	B3	-	-	-	-
	B2	1,347	113.7%	1,350	-

豚の枝肉取引頭数及び卸売価格(極上・上規格)

	頭数	前年同月比	価格	前年同月比
主要卸市場計	79,701	100.8	740	121.9
うち東京	6,548	104.1	771	128.7
大阪	349	82.7	729	112.3

[鶏肉輸入通関4月]計5万1934tで8・8%増

4月の鶏肉輸入通関実績は、計5万1934t(前年同月比8・8%増)と増加し、前月から3846t増加した。

モモ正肉などをメインにした「その他」は4万9369t(8・1%増)。丸鶏も1584t(26・3%増)と増加。骨付きモモも981t(27・2%増)と増加した。

国別にみると、ブラジルが3万8707t(27・6%増)、タイが1万2556t(25・2%減)、米国の658t(28・0%増)、その他の国が14t(82・3%減)となった。

2026年4月の鶏肉輸入量

		米 国	タイ	ブラジル	その他国計	小 計
チルド	計	-	-	-	-	-
	累計	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
フローズン	丸 鶏	-	-	1,579	5	1,584
		(-)	(-)	(129.0)	(16.7)	(126.3)
	骨付きモモ	-	-	4,335	21	4,356
		(-)	(-)	(81.0)	(22.8)	(80.1)
		658	88	232	3	981
	そ の 他	(128.0)	(53.7)	(301.3)	(18.8)	(127.2)
		1,857	405	587	6	2,855
小 計	(86.3)	(172.3)	(178.4)	(11.5)	(103.2)	
	-	12,468	36,895	5	49,369	
累 計	(-)	(75.1)	(127.1)	(15.2)	(108.1)	
	20	57,946	127,839	59	185,864	
合 計	(87.0)	(93.9)	(106.6)	(90.8)	(102.2)	
	658	12,556	38,707	14	51,934	
1~4月累計	(128.0)	(74.9)	(127.6)	(17.7)	(108.9)	
	1,877	58,351	132,760	86	193,075	
注: 四捨五入、上段は当月、下段は累計、()内は前年同月比	(86.3)	(94.2)	(105.7)	(41.1)	(101.6)	
	658	12,556	38,707	14	51,934	
1~4月累計	(128.0)	(74.8)	(127.6)	(17.7)	(108.8)	
	1,877	58,351	132,760	86	193,075	
注: 四捨五入、上段は当月、下段は累計、()内は前年同月比	(86.3)	(94.1)	(105.7)	(41.1)	(101.6)	

京都食肉2団体が、8年度通常総会を開催

京都府食肉協同組合(吉岡浩人理事長=写真)、同食肉事業協同組合連合会(同会長)は5月27日、京都市南区の京都食肉会館で令和8年度通常総会を開催した。議事では上程された全議案を原案通り承認。また、京都府食肉協同組合では任期満了に伴う役員改選が実施され、吉岡理事長を再選した他、副理事長に笠置庄太郎氏、理事に田中正史氏、監事に宮崎寿裕氏が、新たに就任することが可決された。

総会は食協、府肉連の順で進行。冒頭、吉岡理事長は出席者に謝辞を述べ「世界情勢による物価高に伴い、消費環境はますます厳しくなっている。組合としては今年度も情報発信や各種活動を通じて皆さまの役に立てればと考えているので引き続きご支援をお願いしたい」とあいさつ。議事では、令和7年度事業報告、同決算報告、賦課金ならびにその徴収方法、8年度事業計画案・収支予算案などについて審議し、全

て原案通り承認。

続いて開かれた府肉連の総会では、吉岡会長が全肉連の創立60周年式典の様子を報告。また、今年度の和牛肉需要拡大緊急対策事業については「内容をすでに知っている人も多いと思う

が、来年度も大きな予算を組んでいただいている。ぜひ、積極的に活用してほしい」と話した。

その後、令和7年度事業報告、同決算報告、賦課金ならびにその徴収方法、8年度借入金の最高限度額について審議し、いずれも原案通り可決。木崎裕太副会長が閉会の辞を述べ総会を終了した。



滋賀食肉事業組合・生衛組合が8年度通常総会

滋賀県食肉事業協同組合(岡山光雄理事長=写真)、生活衛生同業組合(同)は5月27日、滋賀県近江八幡市の京都銀行近江八幡支店2階会議室で令和8年度通常総会を開催した。

会の冒頭、岡山理事長は出席者に謝辞を述べた後「食肉業界においては中東問題による包装資材の不足や値上げをはじめ、あらゆるものの値上がりから、消費者の購買意欲減退および食肉の買い控えなどは著しく、大変厳しい現状であり、いかに利益を確保していくかが最大の課題となっている。「行政には、学校給食での近江牛消費拡大事業に取り組んでいただいているが、小売店全体に恩恵があるような、さらなる支援を検討いただきたい」とあいさつ。

また、活動実績と人事報告として、全国食肉事業協同組合連合会の60周年式典で、組合の食肉ギフト券の販売実績が全国ベスト10に入り、表彰を受けたことや、全肉連の村上幸春前会長の推薦を受け、岡山理事長自身が全国の理事に就任。今後は地方の声を中央に届けるパイプ役として、改めて務めていく所存

であることなどについて報告した。

その後、滋賀県健康医療福祉部生活衛生課の並河孝至課長、滋賀県農政水産部畜産課の富田文博技監、日本政策金融公庫大津支店の川瀬政典支店長がそれぞれの立場から祝辞を披露。

議事では、事業組、生衛組合共に令和7年度の事業報告、収支決算、特別会計決算報告および監査報告、8年度事業計画案、収支予算案について審議され、いずれも承認された。

その後は、会場隣地のカネ吉山本が運営する近江牛レストラン「ティファニー」で懇親会を開催。各員が親睦を深めた。



【都内輸入食肉在庫・4月】牛肉在庫量は前年同月比7・1%増

東京冷蔵倉庫協会が公表した4月の都内食肉在庫によると、牛肉は入庫が1万7341t、出庫が1万9044t、在庫が5万5911tとなった。前年同月比では7・1%増となり、前月を下回った。

豚肉は入庫が4万8941t、出庫が4万3605tで在庫が10万1442tとなった。前年同月比では4・0%増となり、前月を上回った。

一方、鶏肉は入庫が1万8629t、出庫が1万7295t、在庫が3万7920tとなった。前年同月比では16・0%減となり、前月を上回った。

シーズンドポークなどを含むその他畜産・畜産加工品は、

入庫が7239t、出庫が6907tで在庫が1万2510tとなった。前年同月比では3・3%増となり、前月を上回った。

東京都の輸入食肉月末在庫(保税在庫)

単位:トン、%

	牛肉	豚肉	鶏肉	羊肉	馬肉	その他畜産物
令和7年2月	51,918	100,155	54,348	1,087	1,202	13,136
3月	53,673	99,231	48,832	1,217	1,133	12,669
4月	52,205	97,559	45,138	1,257	1,016	12,105
5月	55,206	109,231	45,349	1,667	1,080	12,856
6月	56,037	112,879	45,549	1,683	1,113	12,583
7月	56,373	113,902	42,796	1,568	1,136	12,524
8月	59,887	113,896	43,743	1,511	1,088	13,154
9月	56,789	112,054	43,678	1,397	1,034	13,563
10月	59,086	109,844	42,323	1,316	1,059	13,871
11月	57,812	104,107	39,124	1,219	1,110	12,876
12月	56,770	92,278	34,907	1,084	1,058	11,673
令和8年1月	58,416	98,352	35,371	1,219	1,008	12,286
2月	57,077	94,644	36,840	1,288	1,066	12,404
3月	57,614	96,106	36,586	1,494	968	12,178
令和8年4月入庫	17,341	48,941	18,629	1,037	304	7,239
出庫	19,044	43,605	17,295	936	276	6,907
在庫	55,911	101,442	37,920	1,595	996	12,510
前年同月比	107.1%	104.0%	84.0%	126.9%	98.0%	103.3%

日本食品機械工業会が総会を開催、役員改選では大川原会長が留任

一般社団法人日本食品機械工業会(大川原行雄会長、写真)は5月26日、令和8年度定時総会を東京都港区の東京プリンスホテルで開催し、上程全議案を承認した。任期満了に伴う役員改選では大川原会長が留任した。

総会終了後の懇親会の冒頭、大川原会長は「総会において会長留任が決まり、身の引き締まる思いである。来年はFOOMA JAPANが50周年、翌年は工業会が設立80周年を迎えるなど節目となる。これまで工業会では、人材育成や国際協調を積極的に行っており、国際的な展示会では、タイで開催されるプロパックアジアに会員企業が出展を予定している。さらにインドネシアの展示会においても日本ブースを設けて出展する。また、今年はインドに青年部の研修が予定されるなど、グローバルな情報収集が行われている。今年のFOOMA JAPAN2026では『The Shift is On.』を開催テーマに最新の技術と知見が一堂に会する世界最大級の食品製造総合展を開催する。展示会がよりよい商談の場となるよう日食工も全力で努力していく」とあいさつ。

来賓を代表して、経産省製造産業局産業機械課の須賀千鶴課長は「昨年は米中のさまじまなあつれきにより、食品機械業界にも厳しい影響を及ぼした。こうした中、本年に入って中東情勢の混乱から、会員企業の業績に影響が出る状況が続いている。中東情勢についてはエネルギーや原材料の安定供給を確保することが、国民生活をはじめ経済活動において重要であるため、政府では中東情勢に関する閣僚会議を開催して検討している。ナフサなどの石油化学製品は国内全体で必要となる量は、現時点では確保されているが、一方で供給の偏りや目詰まりが生じている。ナフサ不足の解決に向けて経産省では情報窓口を設置して供給と需要の安定に努めている。今後も官民が協力して乗り越えていくことが重要である」と述べた。続いて、工業会の南常之副会長の乾杯の発声で懇親会に入った。



【東京食肉卸売市場】牛は高値疲れ、豚は強含みか

[牛]前週、和牛は弱含み、交雑牛は弱もちあい。4月から異例の高値相場が続いてきたが、月替りを前に週中には全面安となった。和牛A3~A4は30~60円程、A5は100円程も下げている。実需と折り合いがつかない苦しい状況が続いていたが、ここで一息つけるか。交雑牛も50円前後下がったが、B2が1700円を超えており、例年より高いことは変わらない。部分肉の荷動き自体は活発とはいえませんが、BBQ需要に向けた引き合いが強まっている。和牛のロース、カタロースは重い、その他の荷動きは好調。供給が潤沢とはいえませんが、交雑牛は和牛の代替もあり全体的に需要が高い。梅雨入りするとやや弱まるか。

今週から6月となる。補充もあり、前週のもちあいから強もちあい。和牛去勢A5は2500~2600円、A4は2400~2500円、交雑牛B3は1800~1900円とみる。

[豚]連休明けから下落傾向で推移していた枝肉相場だが、前週はやや反発。ただ、それでも上物価格は600円台後半の展開となっており、出荷頭数の減少するこの時期としてはそれほど上昇していない。

一方、全国と畜頭数はおおむね6万頭台を維持してきたが、前週には5万頭台となる日も。農水省の肉豚生産出荷予測(5月25日発表)によると、6月は131万2千頭を予測しており、前年同月比では7%増、平年比でも2%増と、それぞれ増加する予測となっているが、気温の上昇とともに今後は頭数も減少が見込まれる。

まもなく梅雨入りも予想される中で不需求期に入り、末端消費は冷え込みが予想されるが、出荷頭数の減少により底堅い相場展開が継続しそう。

今週も強含みか。

【大阪市食肉卸売市場】牛は高値もちあい、豚は6月も高値基調続く

[牛]閑散期で小売も外食のインバウンド需要も一服している中、和牛も交雑牛も高値が続いている。6月から資材費が1~2割も値上げになるという事業者も多くいる中で、かなりの利益圧迫につながっているが、牛部分肉価格への転嫁も一筋縄ではいかず、頭を抱えている状況だ。

和牛は4等級も5等級も、またBMSにおいても垣根がなくなってきて、より歩留まり率やモモ抜けなど、実

用性重視の視点が高まっている。次世代の和牛作りにも求められているポイントが価格に反映されてきていることを実感する。

和牛、交雑牛共に高値でもちあい。

[豚]一時よりは下落してきているが、それでもこの先は気温が上昇し、肉豚の生育にも影響をもたらすことから、6月に入っても変わらず高値が続くだろう。

プリマハム、ハム・ソーセージおよび加工食品 約250品目を値上げ

プリマハムは、8月1日納品分からハム・ソーセージおよび加工食品の価格改定を順次実施する。原材料や副資材価格の高騰、物流コストや人件費の上昇が継続していることに加え、国際情勢の緊迫化に伴う石油関連資材やエネルギーコストの高騰も影響している。

同社では、安全・安心で高品質な商品を安定的に供給するため、コスト削減などのさまざまな企業努力を重ねてきたが、自助努力のみでコスト上昇分を吸収す

ることが困難な状況となっている。このため、品質向上に努めるとともに、引き続きコスト低減への取り組みを進めながら、価格改定を実施する。

価格改定の対象は、ハム・ソーセージ、加工食品の家庭用・業務用商品で約250品目。改定率は約5.0~35.0%。価格改定日は8月1日納品分からで、順次実施する。



【資料】 食肉加工品生産数量調査報告書 (2026年4月分)

(単位：t,%)

	銘柄	生産数量	前年同月比	2026年累計	前年同期比
ハム類	ロースハム	5,186.8	97.1	18,220.4	98.2
	ボンレスハム	488.1	104.5	1,758.0	104.9
	骨付きハム	4.9	87.5	19.7	98.5
	ラックスハム	786.0	104.9	2,837.9	105.4
	ベリーハム	2.1	87.5	7.1	76.3
	ショルダーハム	94.0	98.9	369.4	94.2
	その他ハム	814.7	95.6	2,845.0	96.6
	小 計	7,376.6	98.2	26,057.5	99.1
ベーコン類	ベーコン	6,411.9	93.8	23,780.5	95.7
	ロースベーコン	2.1	300.0	4.7	276.5
	ショルダーベーコン	459.1	109.9	1,835.7	125.2
	その他ベーコン	200.8	96.6	747.8	102.8
	小 計	7,073.9	94.8	26,368.7	97.5
ソーセージ類	ウインナーソーセージ	20,439.0	102.4	73,953.4	101.2
	フランクフルトソーセージ	2,800.0	87.1	8,902.8	89.0
	リオナソーセージ	428.5	99.5	1,583.7	108.6
	ポロニアソーセージ	1,223.5	106.7	4,576.2	107.3
	ドライソーセージ	590.7	98.0	2,053.8	105.1
	セミドライソーセージ	28.3	134.8	96.5	119.3
	レバーソーセージ	1.3	22.8	10.0	74.6
	レバーペースト	2.4	300.0	5.2	162.5
	加圧加熱ソーセージ	10.7	465.2	43.5	550.6
	無塩漬ソーセージ	757.5	90.2	2,963.1	95.8
	混合ソーセージ	0.9	150.0	4.2	210.0
	加圧加熱混合ソーセージ	0.8	133.3	3.7	160.9
	その他ソーセージ	274.6	73.8	1,081.8	75.8
小 計	26,558.2	99.8	95,277.9	99.9	
プレスハム類	プレスハム	320.2	102.1	1,099.7	102.6
	混合プレスハム	0.0	0.0	0.0	0.0
	チョップドハム	1,582.7	102.9	5,422.7	104.9
	小 計	1,902.9	102.8	6,522.4	104.5
合 計		42,911.6	98.8	154,226.5	99.5
ポークソーセージ		16,071.1	102.8	57,848.3	102.4
サラミソーセージ		112.1	124.1	360.1	117.8
ハンバーグ類		1,895.7	100.9	6,839.2	98.4
焼き豚		1,658.6	90.7	6,212.8	99.6
その他		3,919.1	96.7	14,316.9	99.5

- 注) 1. 生産数量は食肉加工工場より報告された数量である。
 2. ポークソーセージはウインナー、フランク、ポロニアの内数である。
 3. サラミソーセージはドライ、セミドライの内数である。

資料：日本ハム・ソーセージ工業協同組合調べ「食肉加工品等流通調査」
 (公益(株)日本食肉協議会委託事業)

東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 5月29日
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1	
和牛	雌 A	高値	3,057	2,808	-	-	-
		安値	2,328	2,405	-	-	-
		平均	2,600	2,512	-	-	-
		45頭	35	10	-	-	-
		頭数					
	雌 B	高値	-	-	-	-	-
		安値	-	-	-	-	-
		平均	-	-	-	-	-
	-頭	頭数	-	-	-	-	-
	去 A	高値	3,181	2,555	2,498	-	-
		安値	2,420	2,380	2,488	-	-
		平均	2,671	2,492	2,493	2,163	-
139頭		121	15	2	1	-	
頭数							
去 B	高値	-	-	-	-	-	
	安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	-	2,171	-	-	
1頭	頭数	-	-	1	-	-	
乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
	雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
	去 B -頭	平均	-	-	-	-	
	去 C -頭	平均	-	-	-	-	
交雑牛	雌 B	平均	1,850	1,810	-	-	
		2頭	1	1	-	-	
	雌 C	平均	-	-	-	-	
		-頭	頭数	-	-	-	-
	去 B	平均	-	1,852	1,811	-	
		8頭	頭数	-	3	5	-
去 C	平均	-	-	1,707	-		
1頭	頭数	-	-	1	-		

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜 売買	411 264	893 937	- 106.0	(競り)	(相対)	
				-	25	53

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌	A	2,426	1,948	1,860	1,702	-
	B	-	-	1,824	1,694	1,307
和 去	A	2,660	2,395	2,012	-	-
	B	-	-	-	-	-
乳 雌	B	-	-	-	-	1,279
	C	-	-	-	1,239	1,230
乳 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 雌	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 去	B	-	-	1,953	-	-
	C	-	-	-	-	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	705	872	796	702	618
	安値	671	631	583	475	194
	平均	688	667	643	625	484
	頭数	(10)	(358)	(340)	(142)	(87)
搬入 競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
	頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
搬入 相対	高値	-	681	660	518	508
	安値	-	681	540	454	410
	平均	-	681	585	477	480
	頭数	(-)	(5)	(4)	(3)	(13)

[大阪食肉卸売市場] 5月29日
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) []は豚規格

	5 [極上]	4 [上]	3 [中]	2 [並]	1 [等外]
和 雌 A	2,561	2,436	-	-	-
(頭数)	(10)	(3)	(1)	(-)	(-)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	(-)	(1)	(-)	(2)	(-)
和 去 A	2,504	2,419	-	-	-
(頭数)	(9)	(3)	(-)	(-)	(-)
B	-	2,305	-	-	-
(頭数)	(-)	(1)	(-)	(-)	(-)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	2,015	1,946	1,914	1,815	-
C	-	1,888	-	-	-
交雑去 B	-	1,998	1,903	-	-
C	-	-	1,844	1,814	-
豚	-	604	578	515	474

[全国と畜概算頭数]
農水省統計部発表 (頭)

	5月29日	5月28日	(5月累計)
豚	61,200	64,700	1,263,900
成牛計	3,980	3,620	80,550
和牛雌	1,120	810	20,340
和牛去勢	780	860	21,400
乳牛雌	560	860	11,050
乳牛去勢	350	450	8,710
交雑雌	560	370	9,460
交雑去	600	270	9,410

[去勢牛 B3・2 規格 枝肉取引価格] 5月29日

	1,825円	(前日 1,776円)
東京		
大阪	1,671円	(前日 1,887円)

[豚・全農建値] 5月29日

上	中	取引頭数	市況
678円	657円	918頭	反発

と畜 売買	牛 74頭	豚 135頭	牛概況	もちあい
	牛 54頭	豚 98頭	豚概況	反落

各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 5月29日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	691 (691)	- (-)	6,154	-	もちあい
仙台 [中]	722 (645)	582 (576)	444	63	上伸
宇都宮 [地]	674 (669)	606 (609)	1,382	19	上伸
茨城 [地]	687 (693)	651 (645)	982	368	下押し
群馬 [地]	727 (699)	634 (598)	1,801	277	続伸
さいたま [中]	698 (689)	694 (682)	158	156	上伸
東京 [中]	667 (652)	643 (631)	893	937	上伸
横浜 [中]	670 (677)	636 (638)	667	663	続落
山梨 [地]	- (709)	- (686)	118	16	休市
浜松 [地]	- (-)	- (-)	-	-	競り休止
名古屋 [中]	690 (669)	656 (653)	811	211	反発
京都 [中]	636 (650)	643 (658)	40	76	もちあい
大阪 [中]	604 (643)	578 (634)	135	49	反落
神戸 [中]	629 (680)	620 (659)	0	47	-
岡山 [地]	668 (670)	655 (646)	299	225	もちあい
広島 [中]	- (-)	- (-)	293	46	-
福岡 [中]	673 (680)	643 (644)	487	128	小幅安

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。

[日本食肉流通センター] 5月22日～5月28日
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 1,744,092 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,215	1,361	1,404	1,335	82,311
うで	819	864	901	865	131,010
ロース	1,182	1,255	1,298	1,246	191,065
ばら	1,246	1,399	1,447	1,382	171,690
もも	824	862	915	867	215,296
ヒレ	1,134	1,296	1,404	1,288	10,358
セット	1,043	1,106	1,118	1,089	942,362

◇近畿圏 総重量 760,491 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,296	1,493	1,534	1,456	57,329
うで	778	821	864	831	128,519
ロース	1,166	1,311	1,381	1,297	91,120
ばら	1,285	1,447	1,494	1,414	128,492
もも	799	861	907	860	183,689
ヒレ	1,242	1,415	1,534	1,398	11,001
セット	985	1,070	1,230	1,085	160,341

[食鳥正肉日経相場] 5月28日
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇東京 (7社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	752	841	1,003	169
ムネ	434	474	657	184

◇大阪 (3社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	781	863	1,050	2
ムネ	436	499	610	2

[農水省統計情報部食鳥市況] 5月28日
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽モ	手羽サ	ササミ
高値	1,038	680	550	600	650
安値	770	460	290	360	350
平均	859	495	-	-	-

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間中(1週間分)に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ(単価・重量)を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値(加重平均値)。

食肉業界紙のパイオニア

食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

■業界動向がデータでわかる 数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

■畜産・食肉業界の動向大全 日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 500頁 14,850円(送料別)

◆食肉販売&経営関連

銘柄牛肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 258頁 定価2,500円(送料別)

銘柄豚肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

◆イベント

■国内で唯一、 最大級の食肉総合見本市



食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP) <https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

お申し込みは電話かFAXで
お近くの食肉通信社まで

株式会社 食肉通信社

■大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
■東京 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10
■九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510
TEL 03(6206)0929 FAX 03(6206)0928
TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995

週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、ブランケット判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、A4判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャネルが多様化する中で、その時々のもっとも話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート・分析。あわせて食肉・食肉製品など総業の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

◆教材&レポート等

■あなたの常識を強化にする 今さら聞けない肉の常識

平野正男
鏡 晃 著

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

■~食肉のプロフェッショナルを育てる~シリーズ 牛枝肉・牛部分肉の見方 牛肉の見方を簡単図解

「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

■職人の技を次世代へ繋ぐ、保存版 牛枝肉・部分肉の 分割と商品化

カラー写真も豊富で、各種規格、枝肉の分割から商品化までの全てが分かる一冊。

B5判 216頁 定価5,500円(送料別)

■知識を豊かにする 食肉用語事典

平成22年に新改訂した、定評のエンサイクロペディア。新訂正版は3,000語採録。

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

◆ステーショナリー

食肉手帳 DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します